



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月25日

上場会社名 株式会社テセック 上場取引所 東
 コード番号 6337 URL http://www.tesec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 尾亦 利夫 TEL 042-566-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,304	129.7	1,166	—	1,337	—	1,086	—
2021年3月期第3四半期	2,309	△23.4	△537	—	△462	—	△425	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,167百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △278百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	192.37	—
2021年3月期第3四半期	△75.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	12,036	10,623	88.3	1,880.66
2021年3月期	10,339	9,513	92.0	1,684.04

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,622百万円 2021年3月期 9,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	123.2	1,500	—	1,540	—	1,270	—	224.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	5,778,695株	2021年3月期	5,778,695株
2022年3月期3Q	130,462株	2021年3月期	130,385株
2022年3月期3Q	5,648,285株	2021年3月期3Q	5,648,310株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. その他	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ワクチン接種の進む先進国を中心に経済対策の効果が高まる一方、途上国などではワクチン接種の遅れや財政の逼迫などから回復が進まず、二極化が鮮明となりました。日本ではワクチン接種と並行し東京五輪が開催されましたが、社会・経済活動の正常化には至らず、貿易摩擦の長期化や債務拡大への懸念が残るなか、先行き不透明感が継続しました。

半導体業界におきましては、経済活動の再開を背景とした自動車や産業向け需要、5G化や巣ごもり消費を背景としたパソコンやスマートフォン、ゲーム向け需要など、幅広い分野で需要が拡大しました。半導体の供給不足に伴う生産のタイト感が続くなか、サプライチェーンのあり方が国家レベルでも意識され、半導体メーカーの投資意欲は継続しました。

このような状況のなか、顧客ニーズに応える製品の開発や改良に注力するとともに、パワーデバイス用テストやMAPハンドラなどの主力モデルを軸として、中国をはじめとする主要市場において顧客基盤拡大に向けた受注活動を展開しました。生産面では、電子部品などの調達が困難となったことから、代替品の利用や2社購買体制への移行を進めましたが、顧客の先行発注も増えるなか、受注から売上までのリードタイムが長期化しました。

以上の結果、受注高は75億66百万円（前年同期比152.4%増）と想定以上の増加となり、売上高は53億4百万円（同129.7%増）となりました。製品別売上高はハンドラ27億72百万円（同321.4%増）、テスト15億25百万円（同45.2%増）、パーツ等10億6百万円（同67.6%増）となりました。

損益面は、売上拡大に伴う売上総利益の増加により、営業利益11億66百万円（前年同期は営業損失5億37百万円）、経常利益13億37百万円（同経常損失4億62百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億86百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失4億25百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上の回復に伴い、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ16億96百万円増加し、120億36百万円となりました。

負債は、買掛金や未払法人税等が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億85百万円増加し、14億12百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し、106億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日に公表しました通期の業績予想および配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,255	2,330
受取手形及び売掛金	1,235	2,222
製品	126	206
仕掛品	1,094	1,665
原材料	331	444
未収消費税等	72	197
未収還付法人税等	20	8
その他	42	88
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,177	7,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,523	2,524
減価償却累計額	△2,188	△2,206
建物及び構築物 (純額)	335	318
機械装置及び運搬具	117	112
減価償却累計額	△110	△98
機械装置及び運搬具 (純額)	7	13
工具、器具及び備品	778	706
減価償却累計額	△735	△666
工具、器具及び備品 (純額)	43	40
土地	1,167	1,167
有形固定資産合計	1,553	1,540
無形固定資産		
ソフトウェア	7	8
その他	1	1
無形固定資産合計	8	9
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322	3,039
退職給付に係る資産	59	93
保険積立金	207	178
その他	17	17
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,599	3,323
固定資産合計	4,162	4,873
資産合計	10,339	12,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232	425
未払金	95	106
未払費用	101	136
未払法人税等	22	220
賞与引当金	88	85
製品保証引当金	31	36
その他	89	169
流動負債合計	660	1,178
固定負債		
長期末払金	1	1
繰延税金負債	165	232
固定負債合計	166	233
負債合計	826	1,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,521	2,521
資本剰余金	3,370	3,370
利益剰余金	3,512	4,542
自己株式	△202	△202
株主資本合計	9,202	10,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	494	529
為替換算調整勘定	△184	△139
その他の包括利益累計額合計	309	389
非支配株主持分	1	1
純資産合計	9,513	10,623
負債純資産合計	10,339	12,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,309	5,304
売上原価	1,939	3,008
売上総利益	370	2,296
販売費及び一般管理費		
販売手数料	79	160
荷造運搬費	37	47
役員報酬	99	92
給料手当及び賞与	271	294
法定福利費	38	42
賞与引当金繰入額	8	23
減価償却費	10	12
研究開発費	176	161
貸倒引当金繰入額	△0	△0
その他	186	296
販売費及び一般管理費合計	907	1,129
営業利益又は営業損失 (△)	△537	1,166
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	26	29
投資有価証券売却益	0	23
為替差益	—	94
助成金収入	50	3
その他	11	9
営業外収益合計	104	180
営業外費用		
保険解約損	—	5
為替差損	26	—
支払手数料	2	2
その他	0	1
営業外費用合計	30	9
経常利益又は経常損失 (△)	△462	1,337
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	56	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△405	1,337
法人税、住民税及び事業税	6	205
法人税等調整額	13	45
法人税等合計	20	251
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△425	1,086
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△425	1,086

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△425	1,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	158	35
為替換算調整勘定	△11	45
その他の包括利益合計	147	80
四半期包括利益	△278	1,167
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△278	1,167
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億30百万円減少し、売上原価は58百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ72百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	1,394	99.0	4,092	307.1
テスト	1,250	31.2	2,289	68.8
パーツ等	430	77.8	1,185	86.2
合計	3,076	62.2	7,566	152.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	2,737	293.3
テスト	1,923	103.6
パーツ等	499	223.0
合計	5,161	187.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	852	100.7	2,772	321.4
テスト	503	89.8	1,525	45.2
パーツ等	412	82.6	1,006	67.6
合計	1,768	93.1	5,304	129.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。